

KENWOOD

ハイブリッドHDDナビゲーションシステム

HDX-710

取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取付説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



目次

取り付け

安全上のご注意	3
取付用部品一覧	6
■ナビゲーションシステム取付用部品	6
■TVチューナー取付用部品	7
フロントパネルのロックについて	8
■フロントパネルロックの切り替え	8
取り付けについて	9
■作業時の留意点	9
■作業が終わったら	9
ナビゲーションシステムの取り付け	10
■ナビゲーションシステム本体の取り付け	10
■GPSアンテナの取り付け	16
■ビーコンアンテナの取り付け	18
TVチューナーユニットの取り付けかた	20
■車両への取り付け	20
TVアンテナの取り付けかた	21
■TVアンテナの説明	21
■取り付け位置を決める	21
■TVアンテナの取り付け	22
■アンテナケーブルの配線	23

接続

TVチューナーの配線	24
■ナビゲーションシステム本体との接続	24
■付属のテレビアンテナとの接続	24
■AV機器との接続	25
周辺機器の接続	26
■センターユニットおよび周辺機器との接続	26
■KCA-S210Aを使用した接続のしかた	28
■ココセコムインターフェースユニットの接続	29
電源の接続	30

絵表示について

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

📌 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意 (続き)

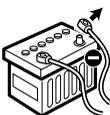
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



バッテリー電源(黄)を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量(5A)以上あることを確認してください。また、本機の他に他のAV機器などを接続する場合は、車両側電源のヒューズ容量は、それらの総ヒューズ容量以上が必要です。

車両側電源のヒューズ容量が不足する場合は、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



注意

カーペットを切ったり車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ・ヘッドランプ・ウィンカー・ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

本製品または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一〈異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど〉異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず〈お買い上げの販売店〉、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。

注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。



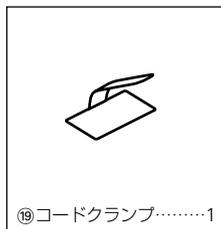
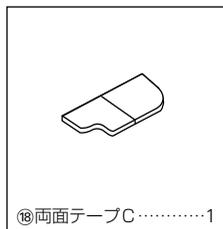
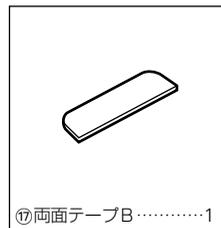
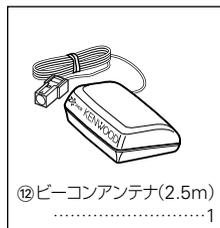
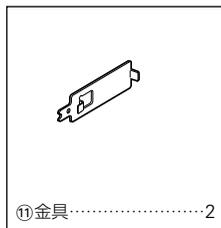
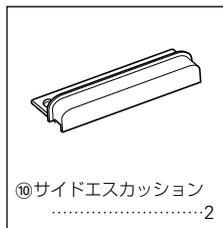
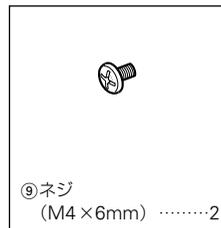
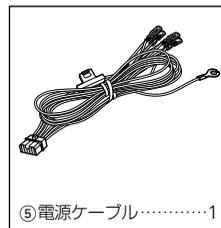
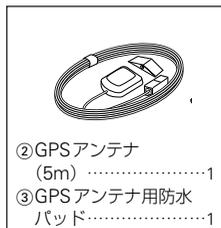
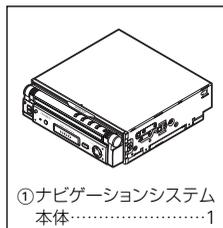
禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

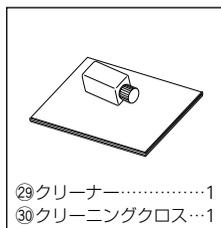
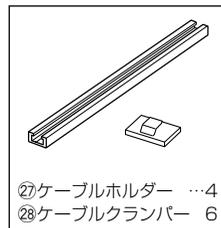
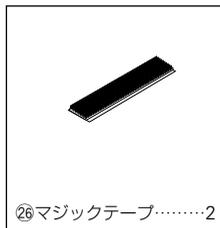
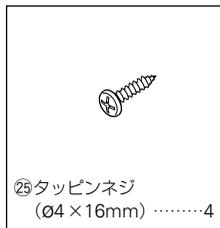
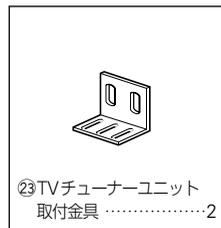
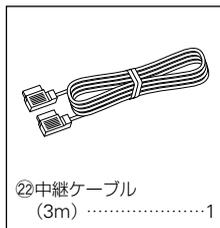
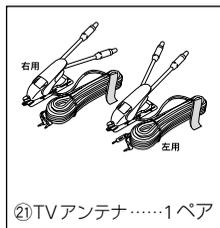
取付用部品一覧

取付作業を始める前に、
以下の部品が揃っていることを確認してください。

■ ナビゲーションシステム取付用部品



■ TVチューナー取付用部品



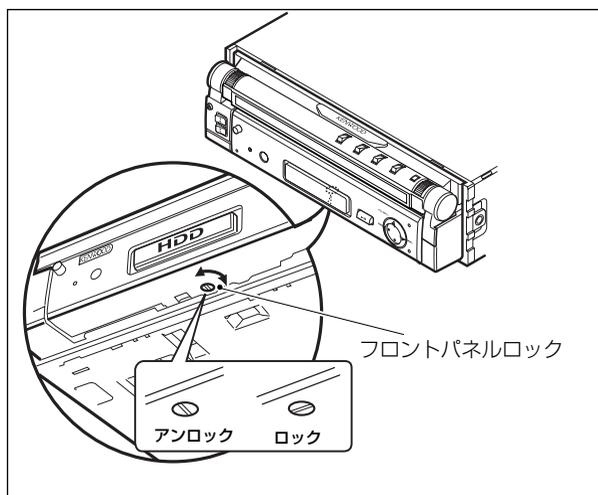
フロントパネルのロックについて

■フロントパネルロックの切り替え

マイナスドライバーなどを用い、ナビゲーションシステム本体底面にあるフロントパネルのロックをロック（横方向）の位置に切り替えます。お買い上げ時はアンロックになっています。

MEMO

- ロックすることにより、フロントパネルを取り外せなくすることができます。
- プロテクションパネルを取り外せないときは、アンロック（縦方向）の位置になっているか確認してください。



取り付けについて

■作業時の留意点

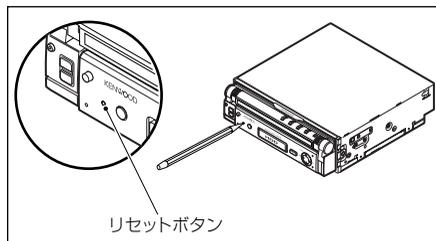
- 各ユニットとも次のような場所には取り付けないでください。
 - ✓直射日光やエアコンの送風が当たる場所・水のかかる場所・高温になる場所
 - ✓しっかりと固定できない場所
 - ✓グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ナビゲーションシステムはしっかりと取り付けてください。
- 本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。

■作業が終わったら

取り付け・接続が完了したら、以下の作業が必要です。

◎ナビゲーションシステム本体のリセット

1. 配線に間違いがないか確認します。
2. ペンの先などを用い、ナビゲーションシステム本体のリセットボタンを押します。
3. 車両のエンジンをかけます。



◎車速パルスの学習

1. GPS情報が受信されている(画面にGPSマークが表示されます)ことを確認します。
2. メニューの接続確認機能でパルス情報がカウントされていることを確認します。
3. 時速40km/h以上で、10km以上走行します。

MEMO

- 障害物(建物・街路樹など)が少ない場所を走行してください。
- ナビゲーションの自車マークの位置は、車速パルスの学習が完了するまで、実際と大きく異なることがあります。
- GPS情報を受信していない状態で走行を始めると、正しい位置に表示されるまでに長時間かかる場合があります。
- ナビゲーションの自車マークは、プログラム読み込み後から現在地図が表示されるまでの間に、ナビゲーション本体を動かすと正しく表示されないことがあります。このようなときは、電源を入れ直してください。
- GPS測位が2Dのときは車速パルスは学習されません。
- 取り付ける車種によっては車速パルスの設定が必要です。メニューの車速パルス設定機能で設定してください。

ナビゲーションシステムの取り付け

■ナビゲーションシステム本体の取り付け

車両ブラケットとナビゲーションシステム本体のネジ穴の位置により取り付け方法が4通りあります。



注意

必ず付属のネジをご使用ください。

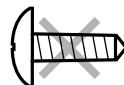
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、ブラケットなどから本体が外れることがあります。



6mm MAX



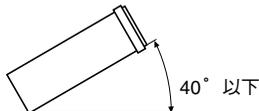
7mm MAX



実施

本機の取り付け角度は 40° 以下になるように取り付けてください。

40° 以上の角度で取り付けるとモニターオープン/クローズに支障をきたす場合があります。モニター部を持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

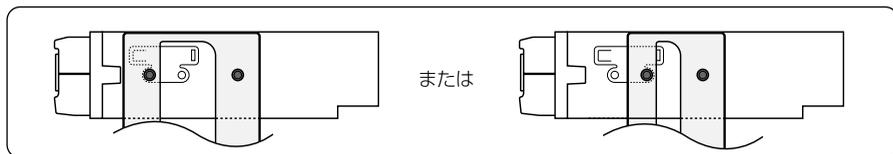


MEMO

- 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

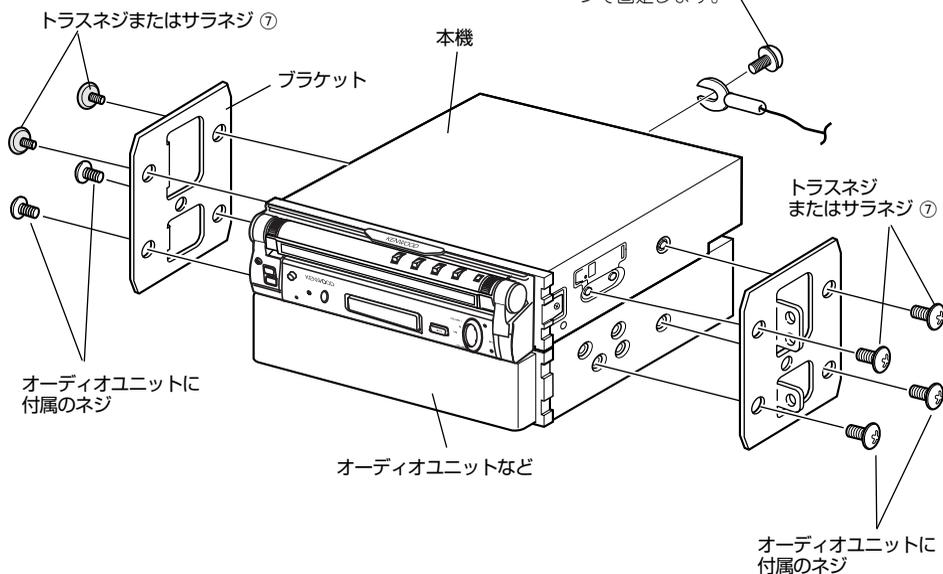


— 車両ブラケットが下図の●位置の穴を使用するトヨタ車や日産車、三菱車などに取り付ける場合 —



セムスネジ (M4 × 8mm) ⑧

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



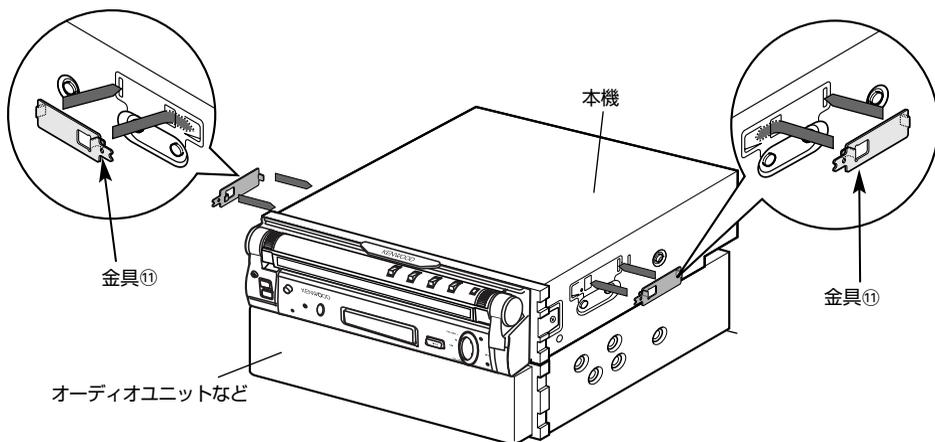
ナビゲーションシステムの取り付け (続き)

— 車両ブラケットが下図の●位置の穴を使用するトヨタ車に取り付ける場合 —



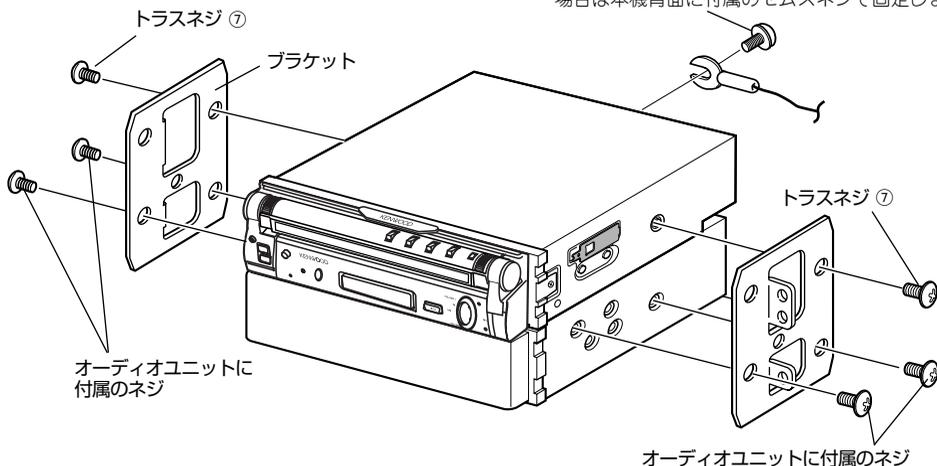
車両ブラケットが上図の形状の場合、本機の左右2ヶ所ずつをネジで固定できません。以下のように金具⑩を使用してブラケットを固定してください。

1. 金具⑩を下図のように両サイドに取り付けます。



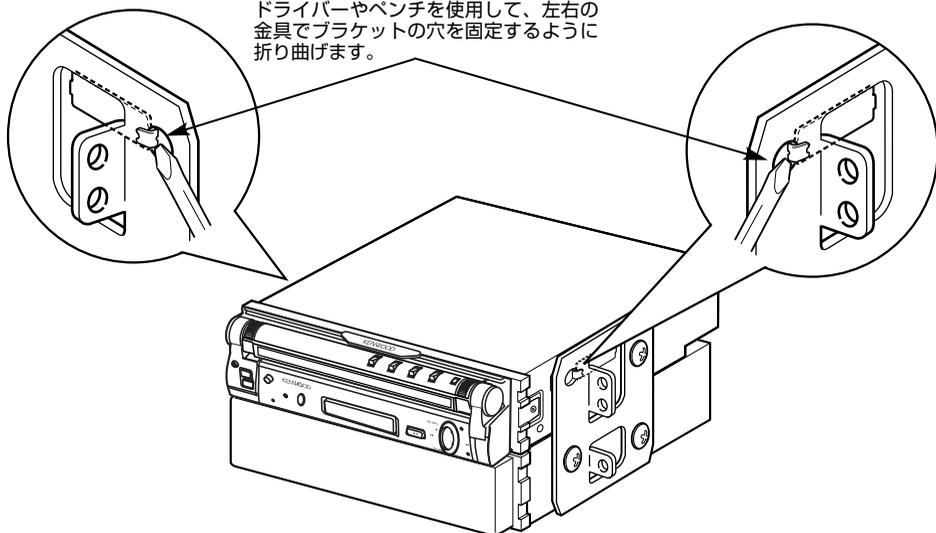
2. ブラケットを取り付けます。

セムスネジ (M4 × 8mm) ⑧
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



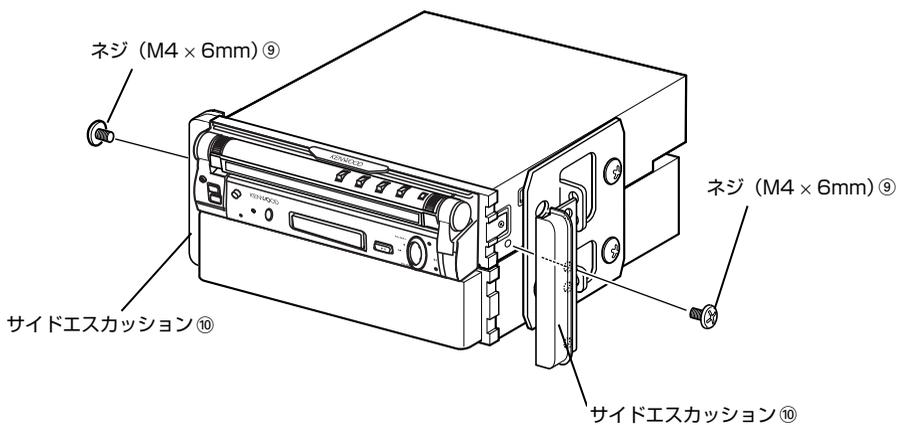
3. 金具⑪の先端を折り曲げて、ブラケットを固定します。

ドライバーやペンチを使用して、左右の金具でブラケットの穴を固定するように折り曲げます。



——トヨタ新規格オーディオ装着車に取り付ける場合——

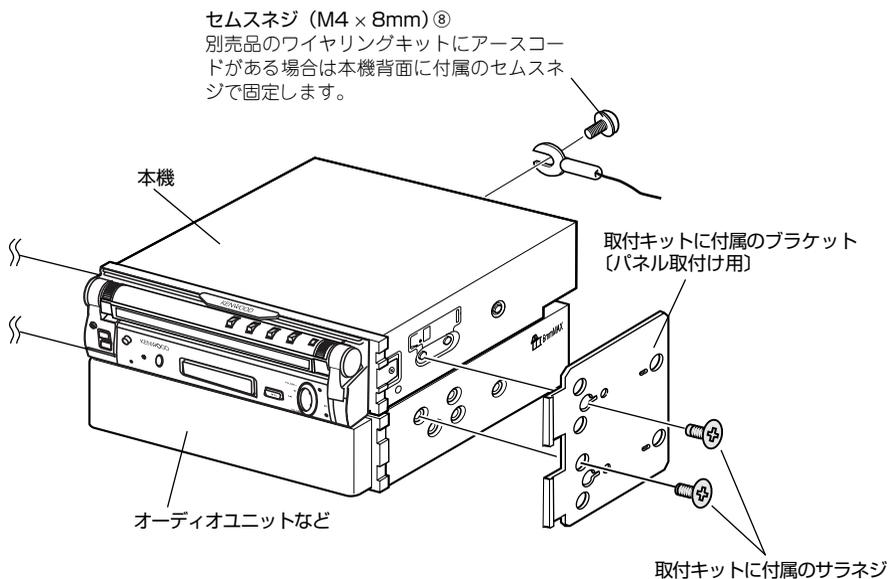
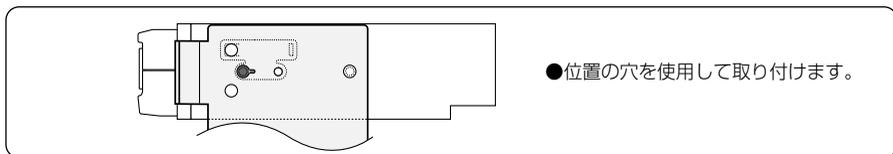
トヨタ新規格オーディオ（幅広タイプ）装着車に取り付ける場合は、サイドエスカッション⑩とネジ⑨を使用して、両サイドの隙間を隠します。



ナビゲーションシステムの取り付け (続き)

—ホンダ汎用取付キットSKH-4107/SKH-4108を使用してホンダ車に取り付ける場合—

1. ブラケット(パネル取付け用)を取り付けます。

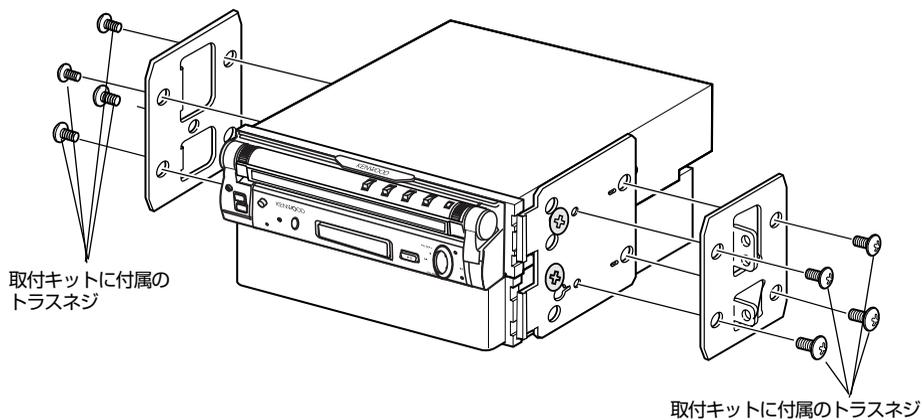
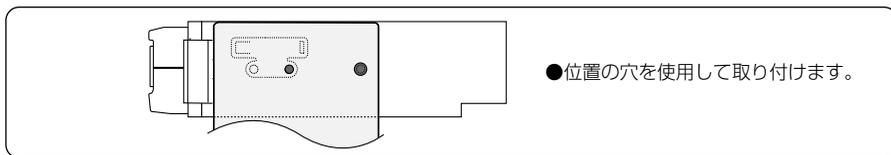


MEMO

- 取付キットに同梱のパネルの取り付け方法については、取付キットに付属の取扱説明書を参照してください。



2. ブラケットを取り付けます。



ナビゲーションシステムの取り付け (続き)

■ GPS アンテナの取り付け

〈GPSアンテナの取り付け位置について〉

- GPS アンテナは、車内と車外のどちらにも設置できますが、どちらの場合もGPS衛星の電波を受信しやすいように**できるだけ水平**に取り付けてください。
- 車内への取り付けではGPS衛星の受信状態が車外に比べて悪くなります。車種によってはGPS衛星の電波を受信できないこともありますので、**車外への設置をお勧めします。**
- GPS アンテナおよびGPSアンテナのコードは、携帯電話や無線機などの**電気・電子機器から30cm以上離れた位置**に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPS アンテナをナビゲーションシステム本体に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しづらくなる場合があります。GPSアンテナとナビゲーションシステム**本体とはできるだけ離して**取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。
- 受信状態の確認方法については取扱説明書をご覧ください。



注意

GPS アンテナ裏面のテープは取り外さないでください。テープがはがれると、防水効果が低下しGPSアンテナの故障原因になります。

—— トランクリッド (車外) に取り付ける場合 ——

GPSアンテナには磁石が内蔵されています。トランクリッドに磁力で吸着させます。

1. GPS アンテナ用防水パッド③をトランクルームの防水ゴムと当たる場所に貼り付けます。
2. GPS アンテナ②のコードをトランクリッドからトランクルームに引き込みます。

MEMO

- GPSアンテナ用防水パッド③を取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。
- 防水およびGPSアンテナコード断線防止のため、GPSアンテナ用防水パッド③を使用して取り付けてください。





——ルーフ（車外）に取り付ける場合——

ドアの防水ゴムにGPSアンテナコードを通して車内に引き込みます。



——車内に取り付ける場合——

GPS衛星の電波を受信しやすいようにリアトレイ中央のガラス面に近いところに取り付けます。

1. GPSアンテナ用プレート④のはくり紙をはがして設置場所に貼り付けます。
2. GPSアンテナ②をGPSアンテナ用プレート④の上に置きます。

MEMO

- GPSアンテナ用プレート④を使用しないと受信感度が落ちることがあります。

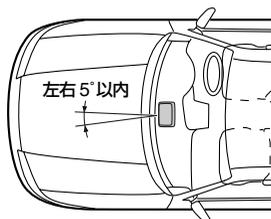


ナビゲーションシステムの取り付け (続き)

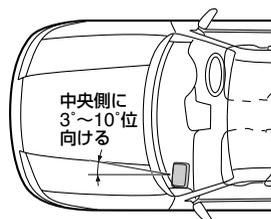
■ ビーコンアンテナの取り付け(1) — 取り付け位置を決める

〈レイアウト例〉

— ダッシュボードの中央への取り付け —
車両前方に対し左右5°以内を向くように取り付けます。



— ダッシュボードの左側への取り付け —
車両前方に対し少し中央側に、左右3°~10°以内を向くように取り付けます。



- 金属コーティングフロントガラス装着車の場合は、電波ビーコンが受信できないことがあります。
- ビーコンアンテナは防水タイプではありませんので、車外には設置することはできません。



注意

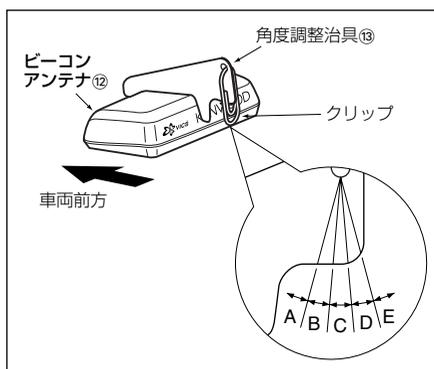
- ビーコンからの信号を正常に受信するため、以下の点にご確認ください。
 - ✓ アンテナ面が車両前方に向くこと (横や逆方向を向かないこと)。
 - ✓ フロントダッシュボード上で、運転の妨げにならず外から見える場所であること。
 - ✓ 前方から見て、ステッカーなどで隠れないこと。
 - ✓ ワイパーの払拭範囲に入ること。
- エアバッグ装置の上または動作の妨げになる位置には取り付けないでください。
- GPS アンテナから20cm以上離してください。
- しっかりと固定できない場所やエアコンの吹き出し口付近には取り付けないでください。
- 両面テープ、コードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し、はがれると事故の原因になります。



■ ビーコンアンテナの取り付け(2) — 取り付け方法を決める

信号の正常な受信のため、ビーコンアンテナは水平に取り付ける必要があります。付属品のビーコンアンテナ角度調整治具 (以下「角度調整治具」) を用い、取り付け面の傾斜に応じた取り付け方法を決めます。

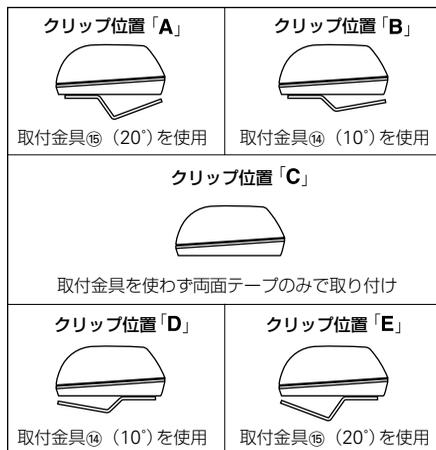
1. ビーコンアンテナ⑫を取り付け面に置いた状態で角度調整治具⑬をあてがい、クリップが示す位置を調べます。



2. クリップの位置（取り付け面の傾斜）に応じた取り付け方法は以下ようになります。

クリップの位置が…

- A: 取付金具⑮(20°)を使用します。→右図「A」
 B: 取付金具⑭(10°)を使用します。→右図「B」
 C: 取付金具を使用しません。 →右図「C」
 D: 取付金具⑭(10°)を使用します。→右図「D」
 E: 取付金具⑮(20°)を使用します。→右図「E」



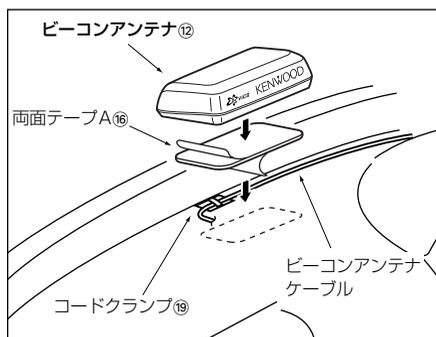
■ ビーコンアンテナの取り付け(3) — 取り付ける

— 角度補正が要らない場合 —

1. 両面テープA⑯のはかり紙をはがしビーコンアンテナ⑫に貼り付け、固定します。
2. コードクランプ⑰でコードを固定します。

MEMO

- 両面テープやコードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

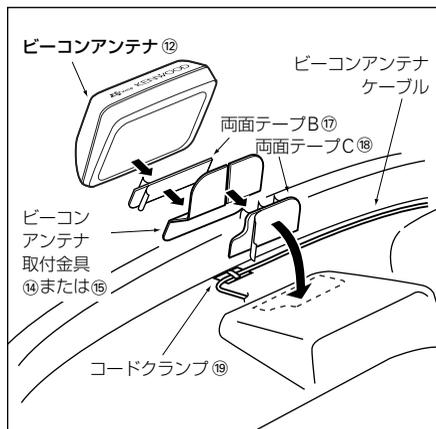


— 角度補正が必要な場合 —

1. ビーコンアンテナ取付金具⑭または⑮に、両面テープB⑰、C⑱を貼り、ビーコンアンテナ⑫に貼り付けます。
2. ダッシュボード上に仮置きし、角度調整器具⑲のクリップが、「C」の範囲内にあることを確認後、ダッシュボードに貼り付けて固定します。

MEMO

- 両面テープやコードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

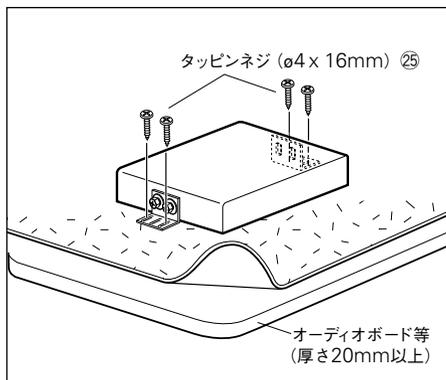
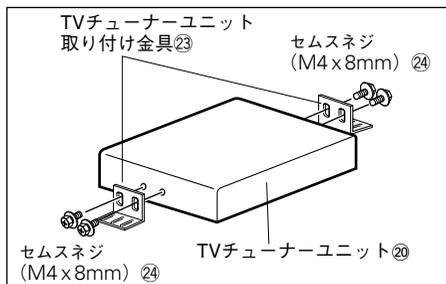


TVチューナーユニットの取り付けかた

■車両への取り付け

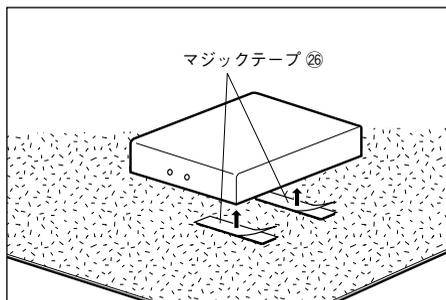
—オーディオボードへ取り付ける場合—

1. セムスネジ(M4 x 8 mm)⑳を用い、TVチューナーユニットの両側に取り付け金具を固定します。
2. タッピンネジ($\phi 4 \times 16$ mm)㉑を用い、オーディオボード等に固定します。



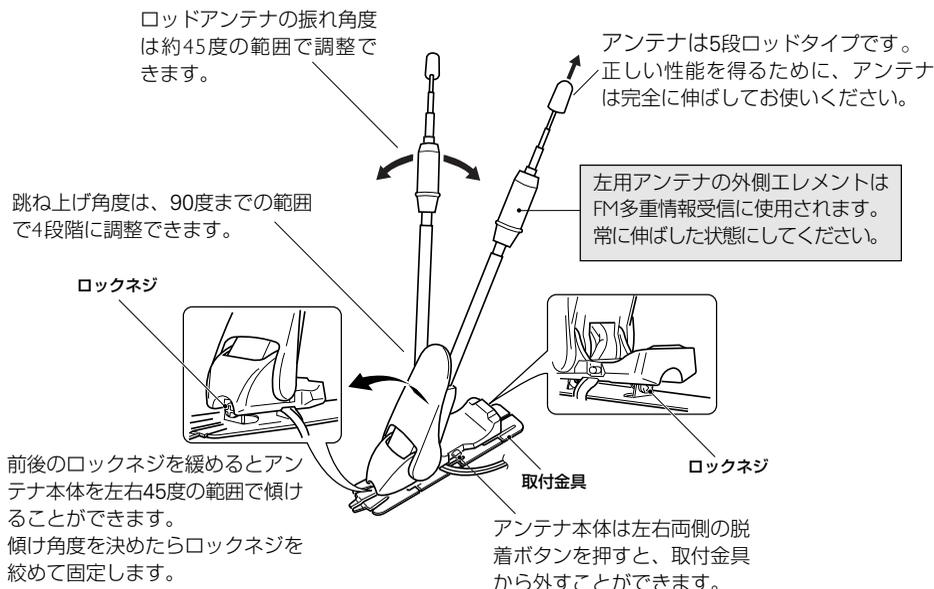
—パイルカーペットへ取り付ける場合—

はくり紙をはがしたマジックテープ㉒をTVチューナーユニット㉒底面に貼り、パイルカーペットに固定します。



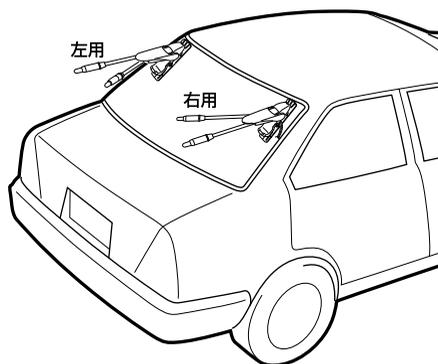
TVアンテナの取り付けかた

■TVアンテナの説明



■取り付け位置を決める

取り付け位置を決めます。取付金具をつけたまま左右のアンテナをリアウインドウガラス上に置いて位置を確認します。アンテナは角度を変え、長さは最長にして実使用状態で確認してください。



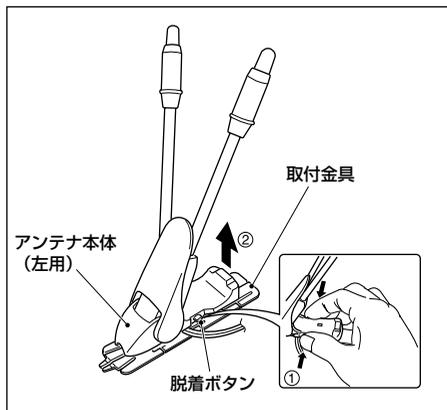
注意

- TVアンテナは右用と左用があります。車幅やバンパーからアンテナがはみ出さないような位置を選んでください。
- TVアンテナは車両のFM/AMアンテナからは離れた位置を選んでください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。
- 取付金具の貼り直しはできません。取り付け場所は慎重に決めてください。

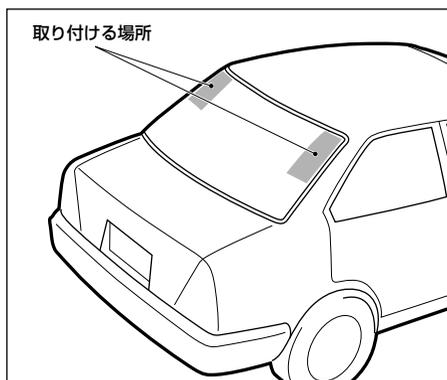
TVアンテナの取り付けかた (続き)

■TVアンテナの取り付け

1. アンテナ本体にある両側の脱着ボタンを押しながら【手順①】、アンテナ本体を上を持ち上げて【手順②】、アンテナ本体をいったん取り付け金具から取り外します。



2. クリーナー^㉔とクリーニングクロス^㉓を使用して取り付け面の油污れ等を落とします。取り付け面の湾曲が大きい場合は、湾曲に合わせて取付金具を曲げてください。



3. 取付金具裏面の両面テープからはくり紙をはがし、上から強く押しつけて取り付け面に取付金具を貼り付けます。



注意

- 取付金具は確実に固定してください。取り付けが不安定だと、脱着等により車両を傷つけたり事故の原因になります。
- 温度の低いところでは両面テープの粘着力が弱くなります。リアウインドウのガラス面温度が低いときは、リアデフォグの電源を入れて温めてください。また、湿度が高いときも両面テープの粘着力が弱くなります。雨の日など湿度が高い日は屋内で作業を行ってください。

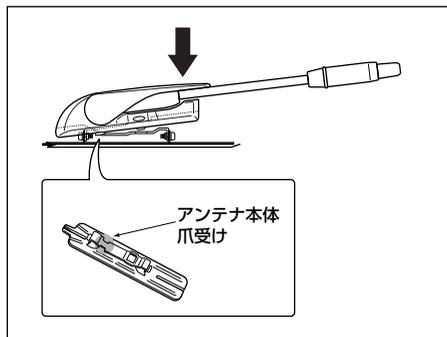


4. 取付金具を貼り付けたあと24時間以上放置します。この間、取付金具に水をかけたり力を加えたりしないように注意してください。
5. アンテナ本体の左右を間違えないようにアンテナ本体を取り外したときと逆の手順で取付金具に取り付けます。



注意

アンテナ本体を取り付けるときは、右図のようにアンテナ本体下部前面の爪を取付金具に引っかけてから、ロックするまで下に押しします。



■アンテナケーブルの配線

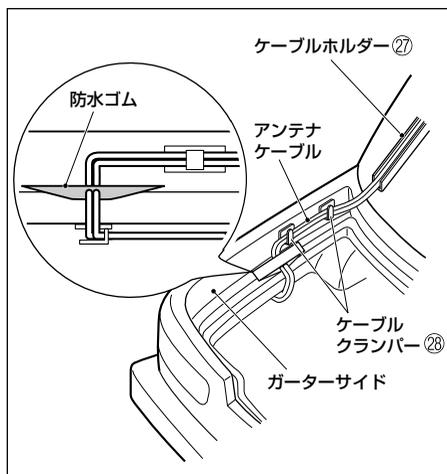
1. ケーブルホルダー^⑲を、アンテナ本体からアンテナケーブルを引き込む位置までの長さに切り、裏面のはくり紙をはがしてガラス面に貼り付けます。



注意

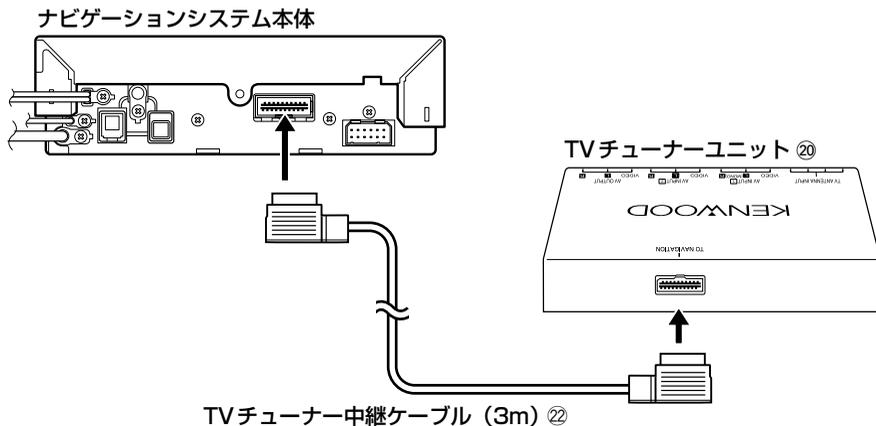
ケーブルホルダー、ケーブルクランパー、および両面テープを貼り付けるときは、クリーナー^⑳とクリーニングクロス^㉑を使用して、貼り付け面の汚れ等をよく落としてください。

2. アンテナケーブルのねじれを直しながらケーブルホルダー^⑲にはめ込みます。
3. アンテナケーブルを車両のガーターサイドに沿って配線し、ケーブルクランパー^㉒で固定します。アンテナケーブルに付いている防水ゴムはトランクリッドにあたるようにします。
4. アンテナケーブルをTVチューナーユニットまで配線します。



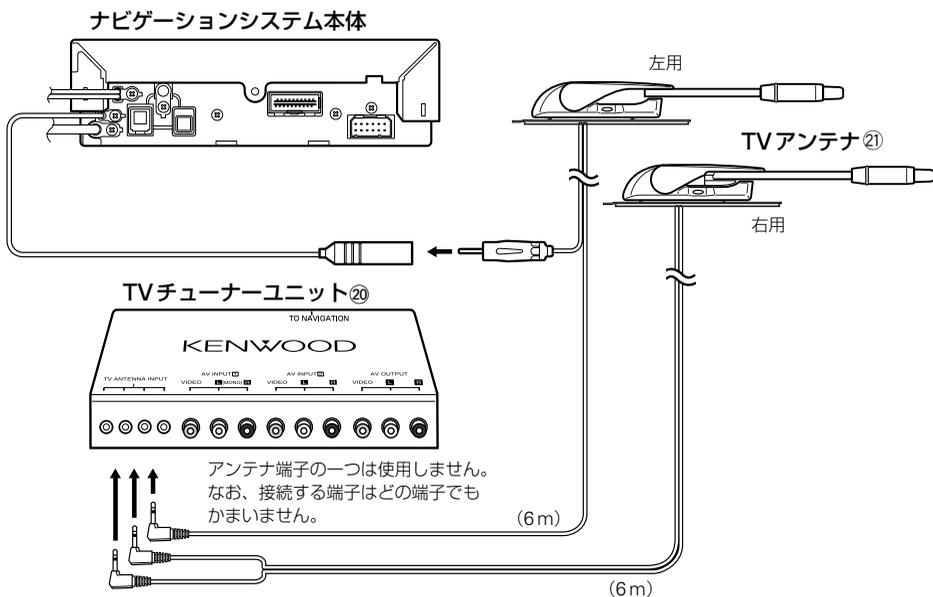
TVチューナーの配線

■ ナビゲーションシステム本体との接続



ナビゲーションシステム本体とTVチューナーユニットは必ず接続してください。
接続しないと、一部機能が動かなくなる場合があります。

■ 付属のテレビアンテナとの接続



TVチューナーユニットの接続のしかたを説明します。

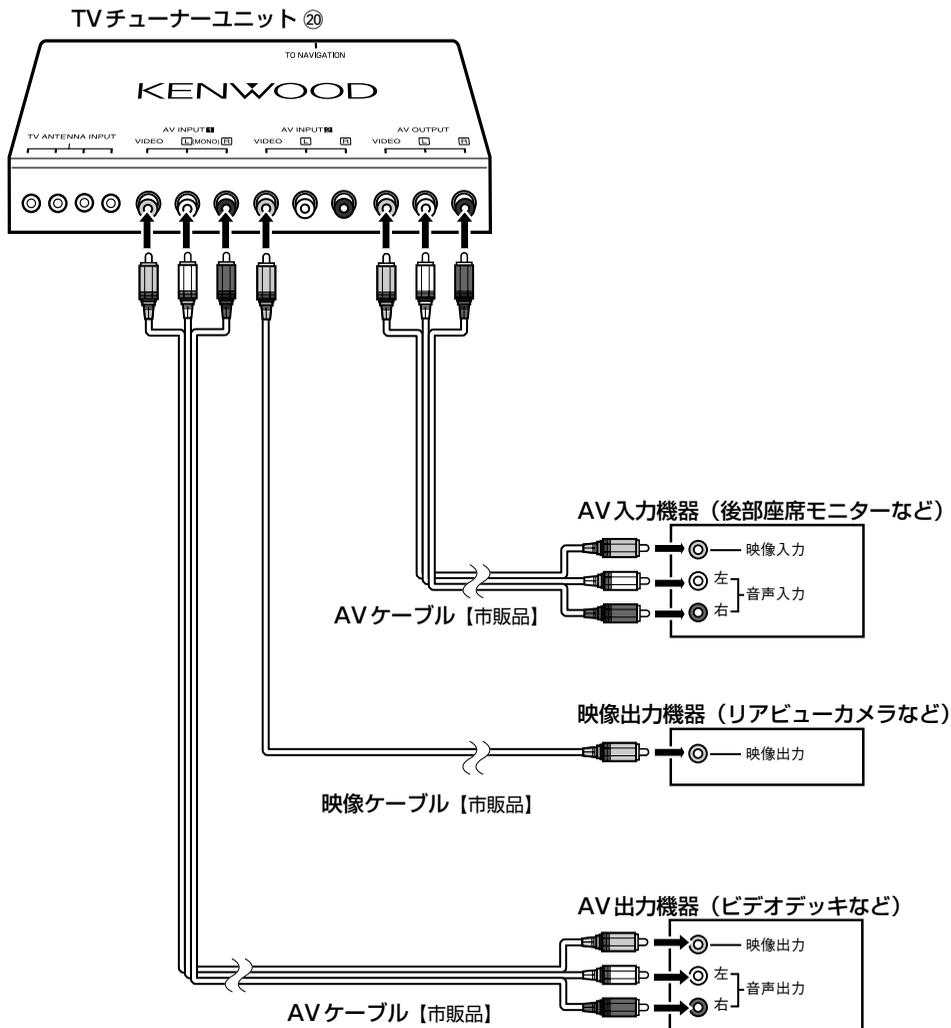
■ AV機器との接続

市販品のAVケーブルを使用して接続します。

黄色端子：映像

白色端子：左音声

赤色端子：右音声



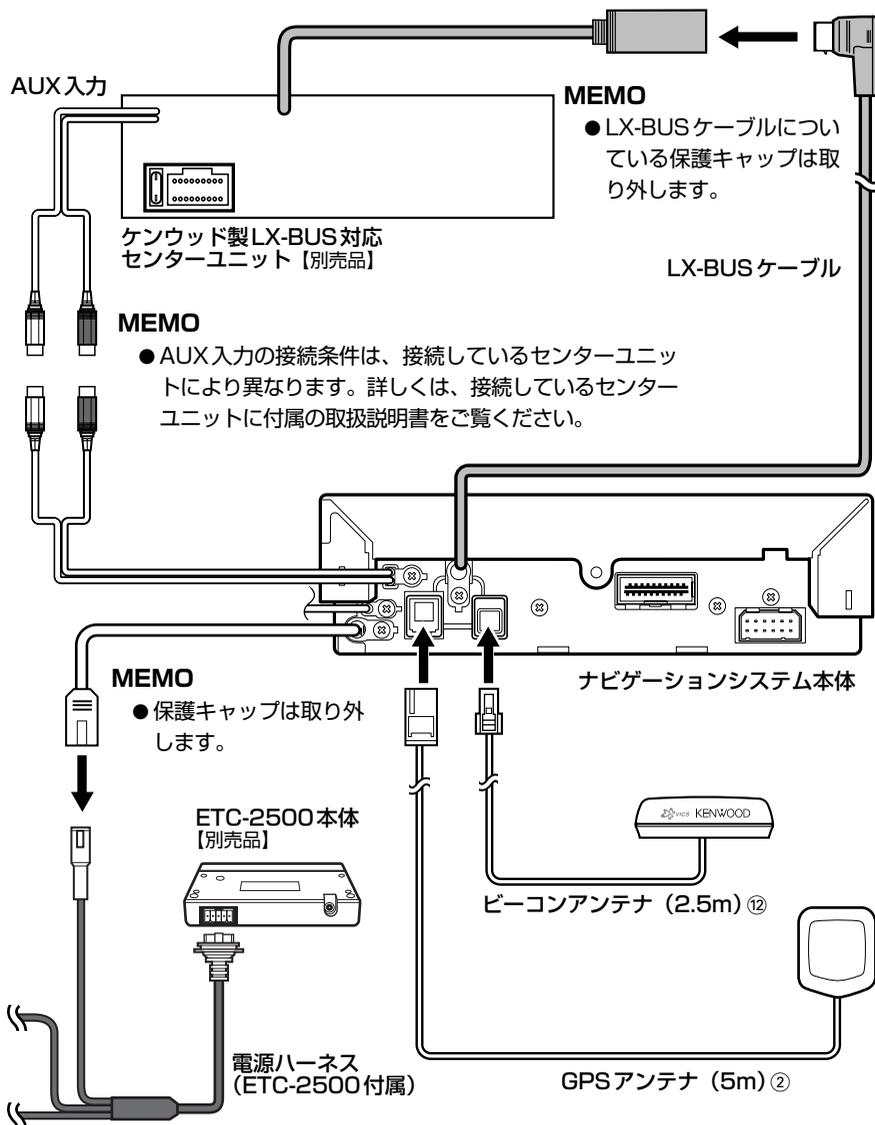
周辺機器の接続

■ センターユニットおよび周辺機器との接続

別売品のケンウッド製のセンターユニットを接続すると本機からコントロールすることができます。本機からコントロールできるセンターユニットについてはカタログをご覧ください。

— ケンウッド製 LX-BUS 対応のセンターユニットと接続する場合 —

LX-BUS 対応のケンウッド製センターユニットと接続する場合は、LX-BUS ケーブルで接続します。



電源については、「電源の接続」
(30ページ)をご覧ください。



— LX-BUS未対応のセンターユニットと接続する場合 —

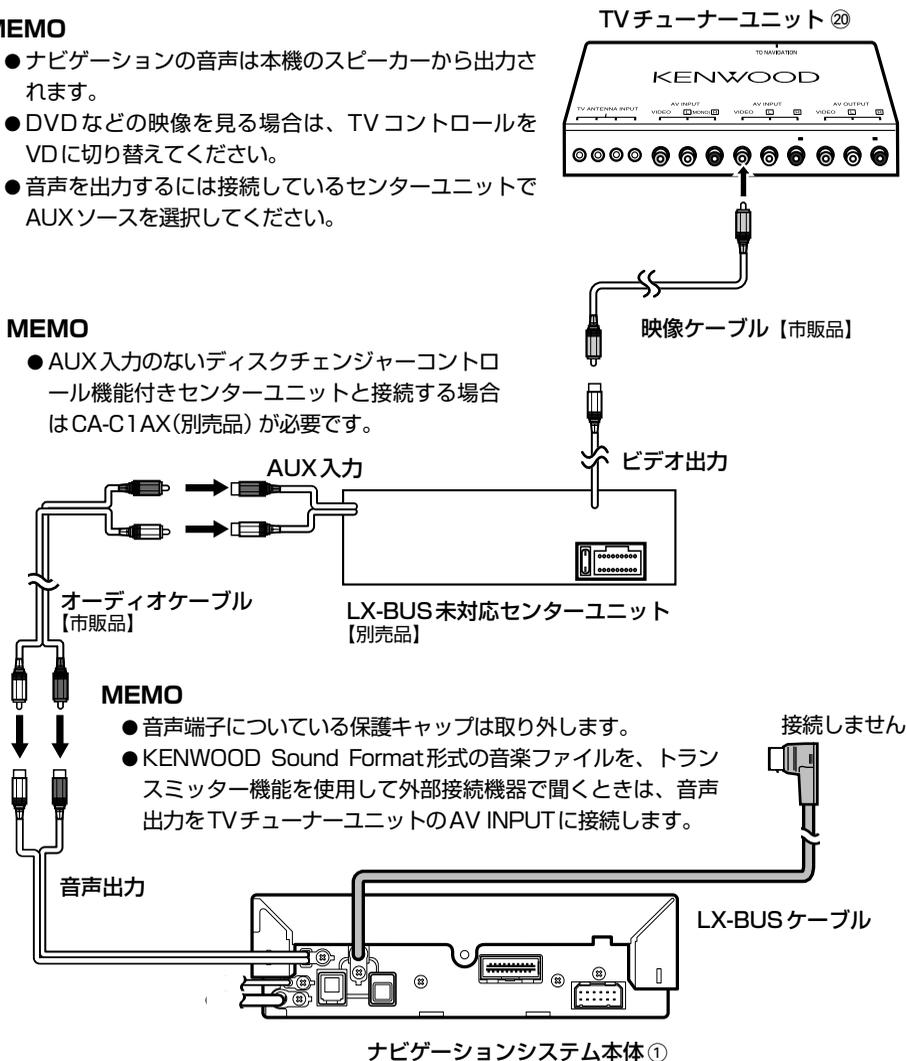
LX-BUS未対応のセンターユニット（DVDレシーバーなど）と接続する場合は、市販品のオーディオケーブルを使って音声出力をセンターユニットのAUX入力に接続し、映像ケーブルを使って映像出力をVIDEO入力に接続します。

MEMO

- ナビゲーションの音声は本機のスピーカーから出力されます。
- DVDなどの映像を見る場合は、TVコントロールをVDに切り替えてください。
- 音声を出力するには接続しているセンターユニットでAUXソースを選択してください。

MEMO

- AUX入力のないディスクチェンジャーコントロール機能付きセンターユニットと接続する場合はCA-C1AX(別売品)が必要です。



MEMO

- 音声端子についている保護キャップは取り外します。
- KENWOOD Sound Format形式の音楽ファイルを、トランスミッター機能を使用して外部接続機器で聞くとときは、音声出力をTVチューナーユニットのAV INPUTに接続します。

周辺機器の接続 (続き)

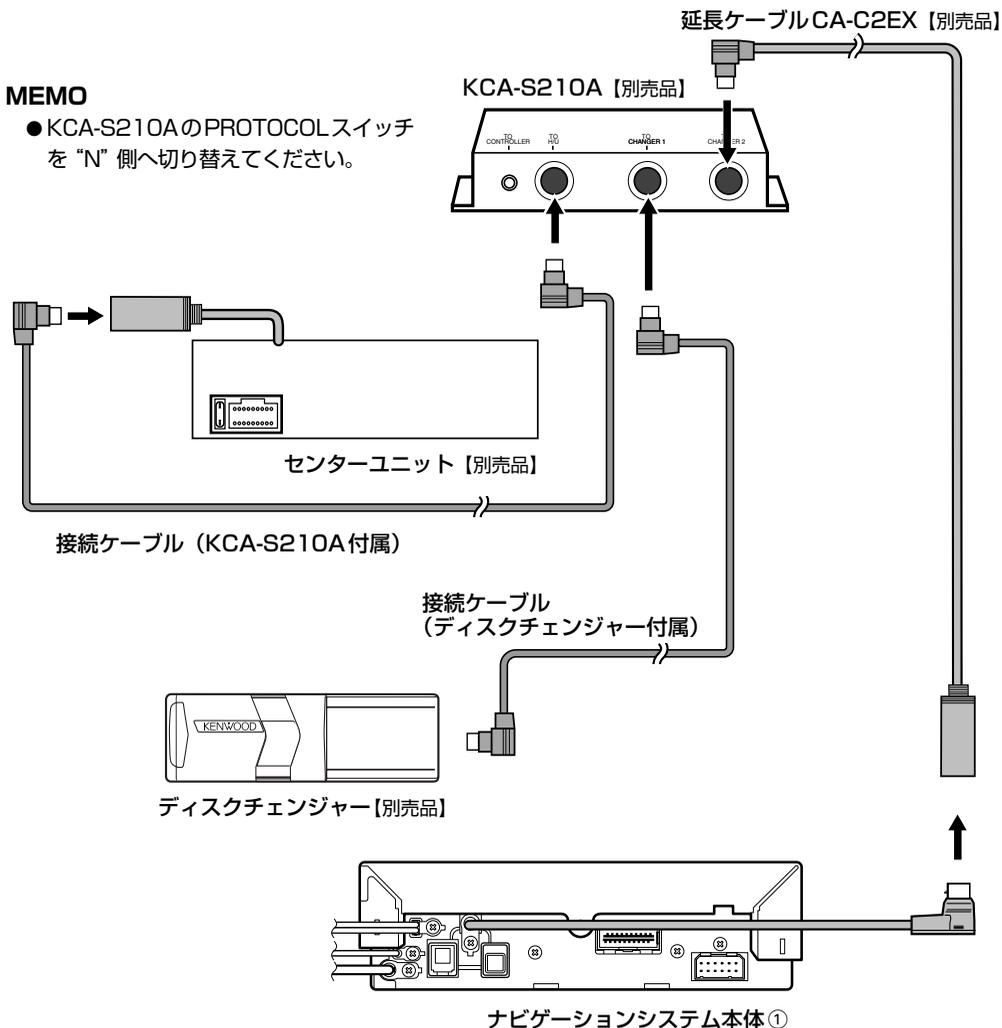
■ KCA-S210A を使用した接続のしかた

MEMO

- ディスクチェンジャーはセンターユニットを接続しているときのみ使用できます。
- センターユニットに DPX-9200WMP/ DPX-8200WMP/ DPX-6200M を使用しているときはディスクチェンジャーを接続することはできません。

MEMO

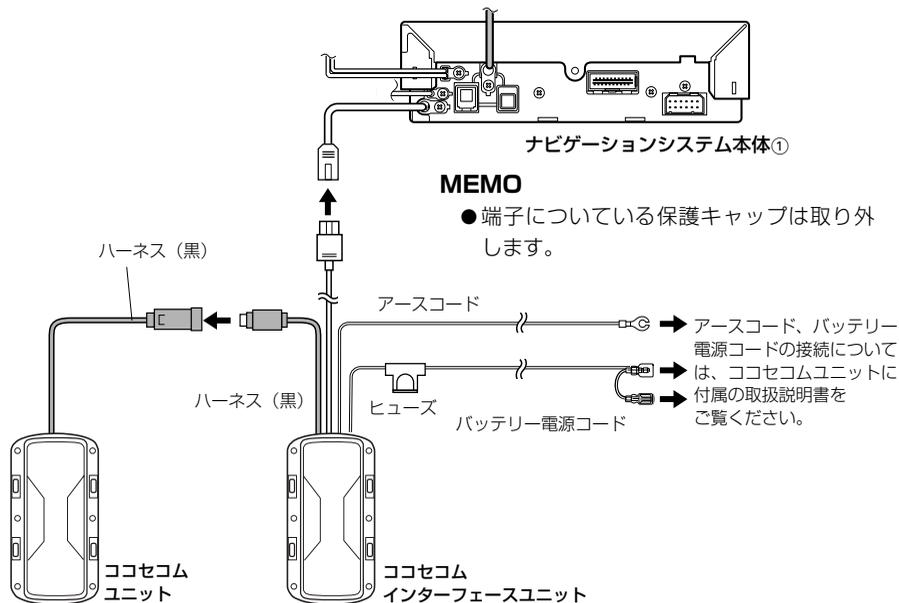
- ナビゲーションシステム本体は必ず CHANGER 2 へ接続してください。



電源については、「電源の接続」
(30ページ)をご覧ください。

■ココセコムインターフェースユニットの接続

別売品のココセコムインターフェースユニットが接続できます。

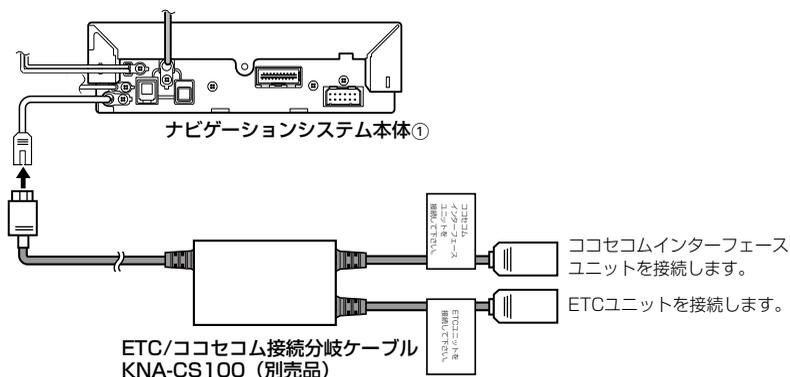


注意

バッテリー上がりにご注意ください。

ココセコムのシステムは、車両のバッテリーを電源として利用しています。車両に搭載しているバッテリーの容量や利用状態・その他の装備品の影響で、車両を運転していない状態が長時間継続すると、車両のバッテリー上がりの原因となることがあります。

別売品のETC/ココセコム接続分岐ケーブル KNA-CS100を使うとETCユニットとココセコムインターフェースユニットを同時に接続することができます。



電源の接続

1. 電源コードをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
2. 電源ケーブルのプラグをナビゲーションシステム本体に接続します。
3. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
4. 本体のリセットボタンを押し、車両のエンジンをかけます。



初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。



- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 使用しない電源ハーネスのプラグ、拡張端子のキャップは取り外さないでください。

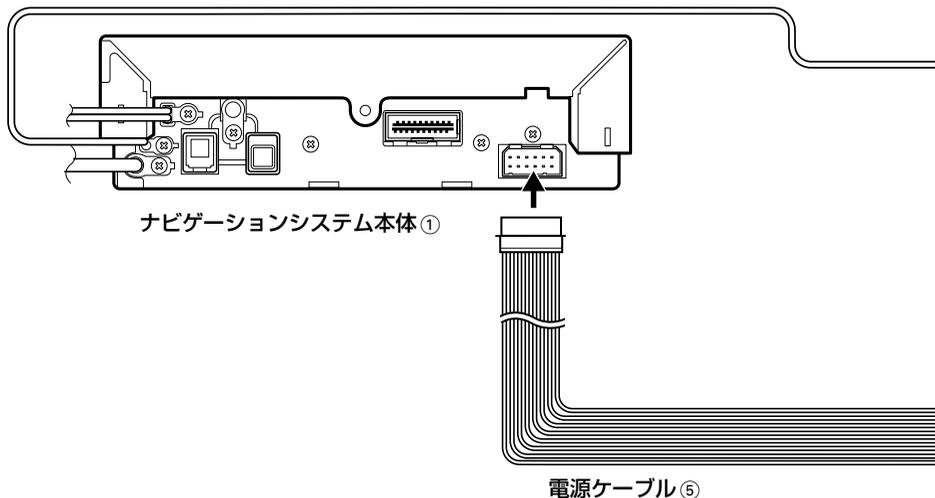
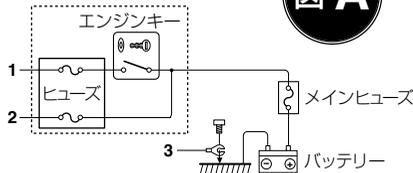


図 A



注意

輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

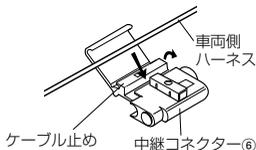


注意

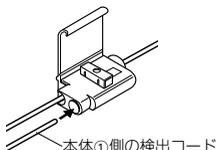
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

中継コネクターの使いかた

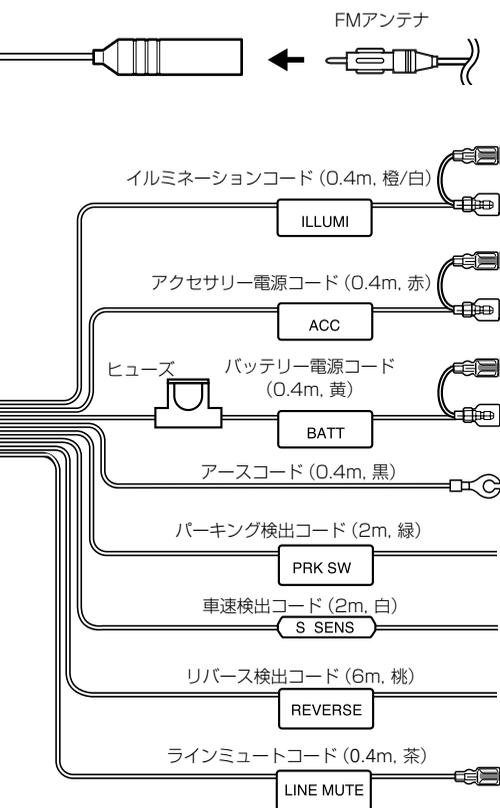
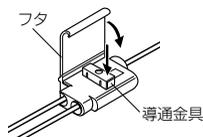
1. 車両側のハーネスを中継コネクタ⑥に差し込みます。
2. ケーブル止めをロックします。



3. 本体①側の検出コードを中継コネクタ⑥に差し込みます。



4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
5. 最後にフタをロックします。



- TVチューナーのTVアンテナを接続する場合は、左用アンテナの外側エレメントのケーブルを接続します。
- 一般のTVアンテナを接続する場合は、ミニ⇄JASO変換ケーブル(市販品)を使用します。
- 受信状態が良くない場合は、専用のFMアンテナを設置することをお勧めします。

他のセットのイルミネーションコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続します。

他のセットのアクセサリ電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続します。▶ 図Aの1

他のセットのバッテリー電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続します。▶ 図Aの2

車の金属部分(電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部)へ接続します。▶ 図Aの3

付属の中継コネクタを使用し、車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

付属の中継コネクタを使用し、車両の車速信号ハーネスに接続します。
※接続していないと、自車位置が正しく表示されません。

付属の中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続します。

カーオーディオのラインミュート端子またはミュート端子に接続します。使用しないときはキャップを外さないでください。



禁止

車速信号検出コードの“S SENS”と書かれたホルダー(保護ダイオード入り)は切り外さないでください。車両故障の原因になります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。